

| お 名 前                    | 性 別 | 卒業年               | 小学校  | 現 住 所 |
|--------------------------|-----|-------------------|------|-------|
| 鈴木 <small>よしみ</small> 芳美 | 女 性 | 昭 3 3 年<br>(1958) | 八名井小 | 鈴鹿市   |

## 「 いもほり 」

(4年生当時の作文)

昭和30年発行文集「つどい」

新城町南部国語研究会発行より転載

今日は日本晴れのよいお天気です。秋の取り入れで学校は休みなので、私は家のお手伝いをしました。お母さんと二人で東の畑に行きました。いもほりです。もうつるはかってあるので、おかあさんがつるをいけると、私がいもをほります。大きないもが、ぶらぶらと七つもついています。二つしかついでいないのもあります。

「これはお母さんと私のようね。」

と話しながらどんどんほっていくと、私の手に豆ができてしまいました。こんどはお母さんがほり出したので、私はほったいもを集めました。弟は前のしょうちゃんとばかりあそんでいます。私は弟をよんで二人でやりました。西の方を見ると、もうお日様がしずみかけてまっかでした。

「夕やけこやけで日がくれて」

と歌いながらお母さんと二人で帰りました。

「今日はよくお手つだいをしたからえらかったね。」

とほめてくださいました。